

2026年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典における台湾代表への対応の検証及び是正に関する陳情書

1：件名

2026年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典における台湾代表への対応の検証及び是正に関する陳情書

2：陳情の趣旨

2026年8月9日の長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典における台湾代表への招請・配席等の対応について、長崎市議会として事実関係、意思決定過程及びその妥当性を検証し、市長及び関係部局に十分な説明を求めるとともに、今後の対応を是正していただきたく陳情します。

2025年の式典では台湾代表の待遇が台湾側から問題視され、その後も改善を求める働きかけがあったとされています。また、2025年7月の市長会見では、台湾の参列受入れ後に他国から反応や働きかけがあったかとの質問に対し、市長は外交的なやり取りを理由に回答を差し控え、台湾の座席については「調整中」と説明していました。

さらに2026年5月には、市長自身が台湾を招請状・開催通知の送付対象とせず、市側から台湾側への事前の働きかけも予定していないとした上で、台湾側から参列希望があった場合も「基本的には昨年と同様の対応」とする考えを示していました。

そのような経緯の中、本年の式典では、大使に相当する台湾の駐日代表について、各国駐日大使らと同等の席次が与えられず、大使らの後方に席が用意されました。その結果、台湾の駐日代表及び副代表2名が欠席し、台北駐日経済文化代表処が抗議を表明したほか、台湾外交部も、前年より待遇が改善した部分は認めつつ、なお適切さを欠く部分があったとして遺憾を表明する事態となりました。

長崎市は「外交エリアという名称のエリアは設けていない」「中国側への迎合は全くない」と説明しています。しかし、本件で問われているのは区域の名称ではなく、大使に相当する台湾代表に各国駐日大使らと同等の席次を与えなかった理由と、その判断過程です。

前年から問題が認識され、本年も事前に摩擦の可能性を指摘されていたにもかかわらず、なぜ今回の判断に至ったのかについて、現時点の市の説明だけでは十分明らかになっていないと考えます。

なお、本陳情は台湾の国際法上又は外交上の地位について長崎市議会に判断を求めるものではありません。長崎市が自ら主催する平和祈念式典において、台湾代表の招請及び席次をどのような基準と意思決定過程によって決定し、その判断に客観性、一貫性、合理性及び十分なリスク検討があったのかを、市議会として検証していただくことを求めるものです。

平和都市・長崎の国際的信用を守り、同様の問題を将来に残さないためにも、市議会による検証と必要な是正を求めます。



3：陳情項目

1. 台湾代表に各国駐日大使と同等の席次を与えなかった理由の明確化

大使に相当する台湾の駐日代表について、各国駐日大使らより後方に配席した具体的理由、席次決定に用いた客観的基準及び台湾代表に当該基準をどのように適用したのかを明らかにしてください。

「外交エリア」という名称の有無や物理的な区切りの有無ではなく、実際の席次の差について合理的な理由が存在したのかを検証してください。

2. 台湾代表の招請・席次に関する意思決定過程及び責任の所在の明確化

台湾代表への招請、開催通知、参加形態及び席次について、どの部署が原案を作成し、どのような庁内協議を行い、誰が了承・決裁し、最終的に誰が決定したのかを明らかにしてください。

特に、招請等に関する基本方針と実際の席次決定について、それぞれの意思決定過程及び責任の所在を明確にしてください。

3. 2025年からの台湾側の問題提起及び改善要請への対応の検証

2025年の式典で台湾代表の待遇が問題視された後、台湾側、日本の国会議員・地方議員、関係団体その他から寄せられた改善要請等について、長崎市がどのように把握し、どの部署で、どのような検討を行ったのかを明らかにしてください。

また、その検討結果が2026年の招請・参加形態・席次にどのように反映されたのかを明らかにしてください。

4. 事前に摩擦の可能性が指摘されていた中で従来方針を継続した判断の検証

2026年5月の市長会見では、前年の経緯を踏まえ、記者から「無用なハレーション」を避けるため台湾側と事前にやり取りを行わないのかとの質問がなされました。

これに対して市長は、市側から台湾側へアプローチする予定はないとした上で、参列希望があった場合についても「基本的には昨年と同様の対応」とする考えを示しました。

その後、実際に台湾の駐日代表及び副代表2名が欠席し、台湾外交部が遺憾を表明する事態となったことを踏まえ、当時どのような外交的・国際的リスクを想定し、どのような庁内検討を経て従来方針を継続したのかを明らかにしてください。

5. 市が掲げた平和祈念式典の理念と台湾への対応との整合性の検証

市長は2026年5月、国境や思想・信条の違いを越え、「全ての分断を乗り越えて、あらゆる国の代表が被爆地・長崎に集まる式典」としたいとの趣旨を表明しています。

一方で、台湾については招請状・開催通知の送付対象外とし、前年から待遇が問題となっていたにもかかわらず事前調整を行わず、各国駐日大使らと同等の席次も与えませんでした。

市が掲げた式典理念と、台湾に対して実際に行った取扱いとの間に十分な整合性があったのか、市議会として検証してください。

6. 広島市との取扱いの相違についての説明

2026年8月6日の広島平和記念式典では、台湾代表団が外交団エリアに配置されています。

広島市と長崎市で式典の席次制度が異なること自体を問題とするものではありません。しかし、日台間に正式な外交関係がないという事情は両市に共通しており、広島市では台湾代表を外交団と同じ区域に配置する運用が可能であった以上、長崎市の対応が外交上不可避であったとは言えません。

長崎市が大使に相当する台湾代表に各国駐日大使らと同等の席次を与えない取扱いを選択した、客観的かつ合理的な理由を明らかにしてください。

7. 中国側その他の外部とのやり取り及び政治的配慮の有無の検証

2025年7月15日の市長会見では、台湾の参列受入れ後に他国から反応、意見又は働きかけがあったかとの質問に対し、市長は、各国との外交的なやり取りを理由として回答を差し控えています。

また、2025年の式典で中国が欠席した後、同年11月に市長が中国・福州市を訪問した際、平和祈念式典について中国側とのやり取りがあったかとの質問に対しても、市長は福州市長と意見交換を行ったことを説明する一方、「個別具体的な内容」については回答を差し控えています。

今回、市長は「中国側への迎合は全くない」と説明しています。

その説明の妥当性を客観的に確認し、市民及び国内外に生じている疑念を払拭するため、2025年の台湾参列受入れ決定以降、中国政府、中国大使館、中国側自治体・団体・関係者その他から、台湾の参列、招請、参加資格、席次又は待遇について、要請、意見、照会、懸念の表明その他何らかの働きかけがあったか否かを明らかにしてください。

また、直接の働きかけがなかった場合についても、中国側の反応、中国との関係又は中国側への影響を、市が自主的に判断材料として検討した事実があったか否かを明らかにしてください。

なお、中国側からの圧力又は長崎市による中国への付度があったと、本陳情においてあらかじめ断定するものではありません。だからこそ、市議会による事実確認を求めます。

8. 長崎市の現在の説明と実際の席次との差についての検証

長崎市は、会場には「外交エリア」という名称のエリアはなく、各国外交使節や国際機関等を配置する「海外エリア」に台湾代表も配置していたとの趣旨の説明をしています。

一方で、台湾代表の席が各国大使らの後ろの列に配置されていたことも市側から説明されています。

したがって、「同じ海外エリア内であった」という事実だけをもって待遇差が存在しなかったと評価できるのか、大使に相当する台湾代表を各国駐日大使らより後方に配置したことに合理的・客観的な根拠があったのかを検証してください。

9. 台湾外交部から遺憾を表明される事態に至ったことについての検証

台湾外交部は、2026年の長崎での待遇について、2025年より改善された部分があったことを認めています。本陳情も、その改善自体を否定するものではありません。

しかし、その上で台湾外交部はなお適切さを欠く部分があったとして遺憾を表明し、台湾の駐日代表及び副代表2名が欠席する事態となりました。

長崎市が台湾を「重要なパートナー」と位置付けているのであれば、その相手の外交当局から正式に遺憾を表明される結果となったことについて、市として何が問題であったと認識しているのかを明らかにしてください。

問題がなかったと判断しているのであれば、その具体的かつ客観的な根拠を示してください。

10. 本件が不適切な取扱いの先例となることの防止

台湾の李逸洋駐日代表は、本件を日台関係全体に拡大して解釈する必要はなく、一つの事案として冷静に扱う姿勢を示す一方、今回のような取扱いを台湾側が受け入れることで、同様の対応が他の自治体等に広がり、先例となることへの懸念を示しています。

本件を感情的な対立へ拡大させるのではなく、長崎市の行政判断として早期に検証し、合理性又は一貫性を欠く部分が認められる場合には是正し、同様の問題が繰り返されることを防いでください。

11. 今後の招請・席次基準の透明化及び再発防止

来年以降の平和祈念式典において、特定の国・地域への政治的配慮又は恣意的な取扱いを疑われることがないよう、外国・地域・国際機関等の代表者について、どのような基準で招請、開催通知、参加形態及び席次を決定するのかを整理してください。

その基準には可能な限り客観性、一貫性及び透明性を持たせ、国内外から合理的に説明可能なものとしてください。

12. 台湾側への説明及び必要な是正

市議会及び市による検証の結果、今回の台湾代表への取扱いについて改善すべき点又は説明が不十分であった点が認められた場合には、台湾側に対して適切な説明を行い、必要に応じて謝意を示すとともに、次回以降の式典において適切な是正措置を講じてください。

13. 長崎市議会による独立した検証

本件を市長及び担当部局による現在の説明のみで終わらせることなく、市議会として関係資料及び執行部の説明を確認し、

- ・2025年からの経緯
- ・台湾側からの改善要請への対応
- ・2026年の招請・席次決定の意思決定過程
- ・摩擦発生の予見可能性及びリスク検討
- ・広島市との対応の相違
- ・席次決定の合理性及び一貫性
- ・中国側を含む外部からの働きかけの有無
- ・中国側の反応等を市が自主的に考慮した事実の有無
- ・今後の再発防止策

について検証してください。

平和祈念式典は長崎市が主催する極めて高い国際的象徴性を有する行事です。そこで生じた行政判断について、市民及び国内外に合理的な説明ができる状態にすることは、平和都市・長崎の信用を守るためにも市議会の重要な役割であると考えます。

4：陳情者の住所

〒
[REDACTED]

5：陳情者の氏名

池永弘太

6：宛先

長崎市議会議員 岩永 敏博 様

提出年月日：2026年8月12日

